

取扱説明書

付属品がすべて揃っているか確認してください

- 本体（バッテリーパック内蔵モデル）
- 電源コード
- スタートアップガイド
- 保証書
- 充電式アクティブ静電ペン（付属モデルのみ）
- ACアダプター
- 安心してお使いいただくために
- 取扱説明書（本書）
- キーボードドック（付属モデルのみ）

【Officeのご使用にあたって】＊Office搭載モデルのみ

本製品にプレインストールされているOfficeを使用するときに、プロダクトキーの入力は必要ありません。Microsoft アカウントでサインインをして、ライセンス認証を行います。

参照 ▶ Microsoft アカウントの作成『スタートアップガイド』

【製品仕様のご確認】

本製品の詳しい仕様については、dynabook.com (<https://dynabook.com/search/index.html>)
でお使いの製品型番を入力し、情報をご覧ください。

製品型番は、保証書や本製品裏面などに記載されています。

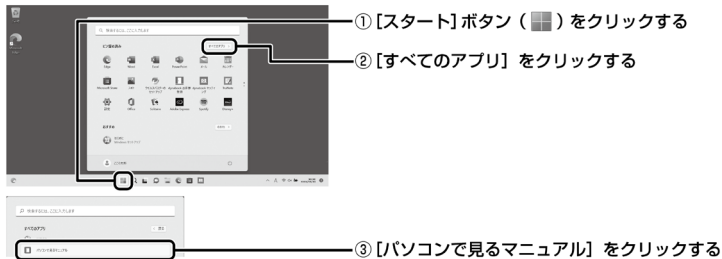
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

もくじ

もくじ.....	1
はじめに	3
1章 パソコンを使うための準備.....	6
1 各部の名称－外観図－	6
1 タブレット前面図.....	6
2 タブレット背面図.....	8
3 キーボードドック前面図（左側）	9
4 キーボードドック前面図（右側）	9
5 キーボードドック背面図.....	10
6 磁石の内蔵について.....	10
2 Windowsセットアップが終わったら.....	11
3 Microsoft アカウントでサインインする	12
4 キーボードドックの取り付け.....	14
1 タブレットにキーボードドックを取り付ける.....	16
5 バッテリーについて	17
1 バッテリー充電量を確認する.....	18
2章 困ったときは.....	19
1 困ったときは ートラブルを解消するまでの流れー	19
2 Q&A集.....	20
3 パソコンを再セットアップするまでの流れ	25
4 パソコンをリセットする／初期状態に戻す	26
1 パソコンをリセット／初期状態に戻す方法について	27
2 パソコンをリセット／初期状態に戻す流れ.....	28
3 パソコンをリセット／初期状態に戻す前に準備すること	29
4 個人用ファイルを保持してリセットする方法.....	31
5 ハードディスク／SSDから初期状態に戻す方法.....	31
6 回復ドライブから初期状態に戻す方法	32
7 パソコンを初期状態に戻したあとは	33
付録	34
1 ご使用にあたってのお願い.....	34
2 アプリケーションのお問い合わせ先	36
3 サービス＆サポートのご案内.....	38
リセット／初期状態に戻すためのチェックシート	47

詳細は、『パソコンで見るマニュアル』で説明しています。

本書では、パソコンに用意されている機能の一部を説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『パソコンで見るマニュアル』を参照してください。『パソコンで見るマニュアル』は、次の手順で起動できます。










* 画面に表示されるアプリケーションは、モデルや使用状況によって異なります。

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるよう
にお手元に大切に保管してください。
本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 Memo	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ 操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 ・ 本書内への参照の場合… 「 」 ・ ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合… 『 』

- ＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- ＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

2

参照

3

- ご使用の際は必ず各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。
使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。
- 保証書は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

「COCORO MEMBERS」へのご登録（お客様登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。

参照▶ お客様登録について『パソコンで見るマニュアル 準備編』

その他の事項については、次の説明書を確認してください。

参照▶ 『パソコンで見るマニュアル 準備編 本書をお読みになる前に』

1章 パソコンを使うための準備

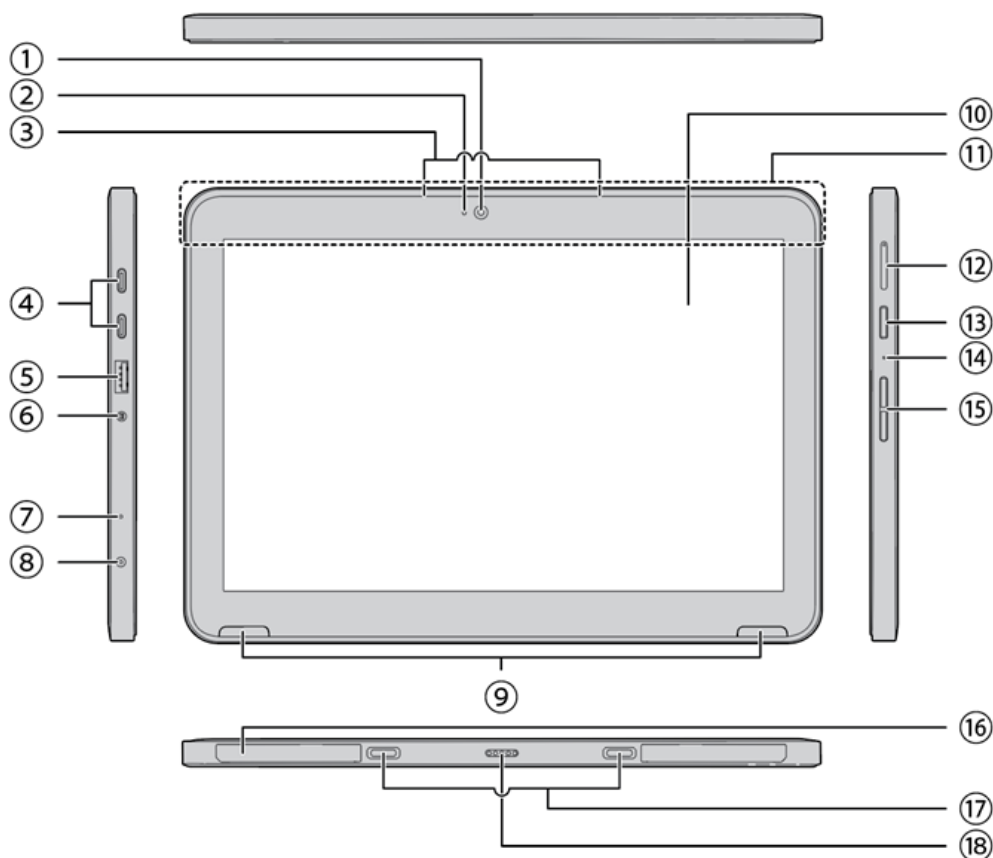
1 各部の名称－外観図－



お願い 外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ／LED／スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。
- 本製品には磁石が内蔵されています。

参照 「磁石の内蔵について（10ページ）」

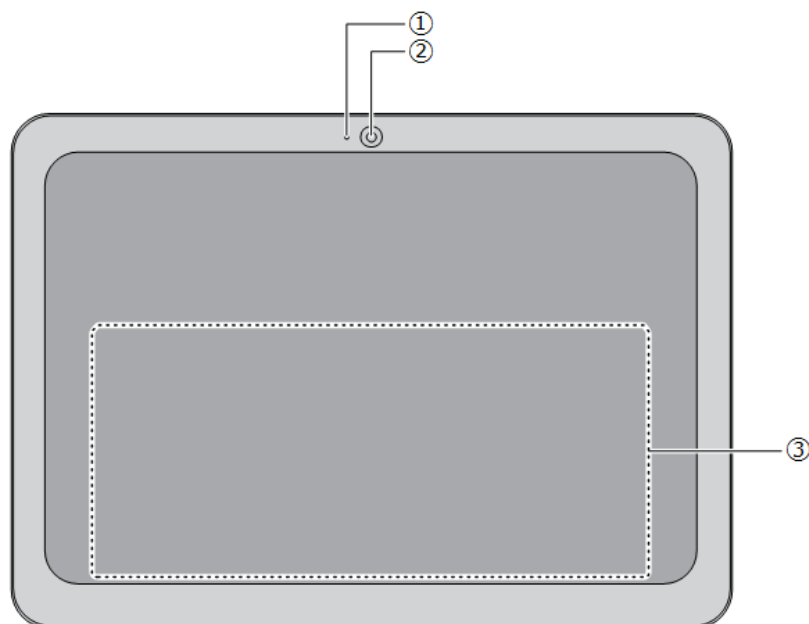
1 タブレット前面図



- ①Webカメラ（フロント）
写真や動画を撮影するためのものです。
- ②Webカメラ（フロント）LED
Webカメラ（フロント）の使用時に点灯します。
- ③内蔵マイク
- ④USB3.2（Gen1）Type-Cコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.2（Gen1）規格に対応しています。
映像出力にも対応しています。
以降、本書では「USB Type-C™コネクタ」と呼びます。
- ⑤USB3.2（Gen1）Type-Aコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.2（Gen1）規格に対応しています。
以降、本書では「USB Type-Aコネクタ」と呼びます。
- ⑥マイク入力/ヘッドホン出力端子
ヘッドホンやヘッドセットを接続します。
マイクはモノラル音声です。
- ⑦DC IN/Battery  LED
電源コードとACアダプターの接続の状態やバッテリーの充電状態を示します。
参照▶「バッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する（18ページ）」
- ⑧電源コネクタ
- ⑨スピーカー
- ⑩ディスプレイ（画面）
- ⑪この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。
* 無線通信機能（無線LAN／Bluetooth®／ワイヤレスWAN機能*1）搭載モデルのみ
- ⑫カードトレイ
microSDメモ리카ード、nanoSIMカード*1をセットします。
- ⑬電源スイッチ
- ⑭Power  LED
電源がONのとき、Power LEDが点灯します。
- ⑮音量ボタン（音量大（+）、音量小（-）ボタン）
音量を調整します。
- ⑯型番、製造番号
- ⑰ドッキングガイド
- ⑱ドッキングコネクタ
キーボードドックを接続できます。

*1 ワイヤレスWAN機能搭載モデルのみ

2 タブレット背面図



①Webカメラ（リア）LED
Webカメラ（リア）の使用時に点灯します。

②Webカメラ（リア）
③バッテリーパック
本製品に内蔵されています。

⚠危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

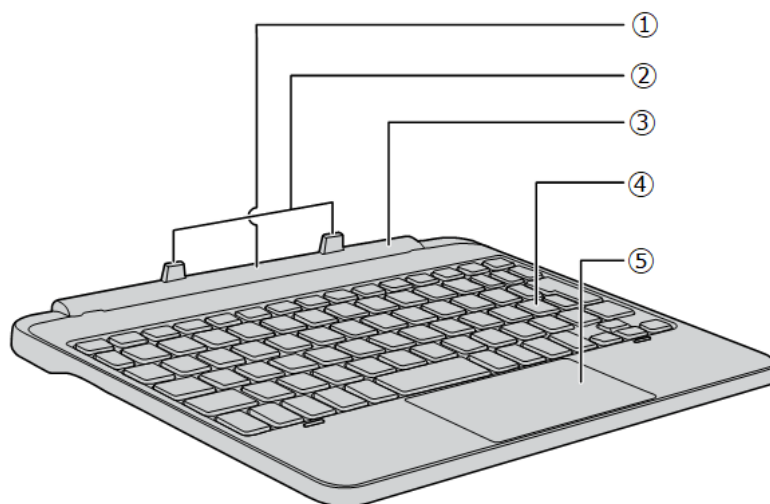
参照 お問い合わせ先「サービス&サポートのご案内（38ページ）」

お願い

- 本製品のメモリについて
 - メモリの交換・増設はできません。

* キーボードドックは、キーボードドック付属モデルのみ

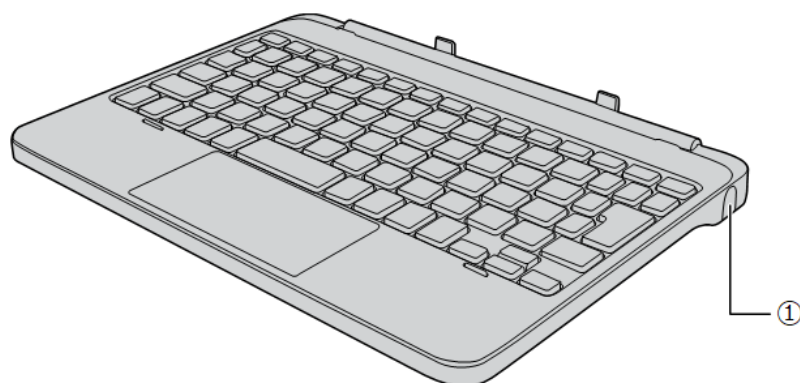
3 キーボードドック前面図（左側）



- ① ドッキングコネクタ
- ② ガイドピン
- ③ ヒンジ

- ④ キーボード
- ⑤ タッチパッド（クリックパッド）、左ボタン、右ボタン

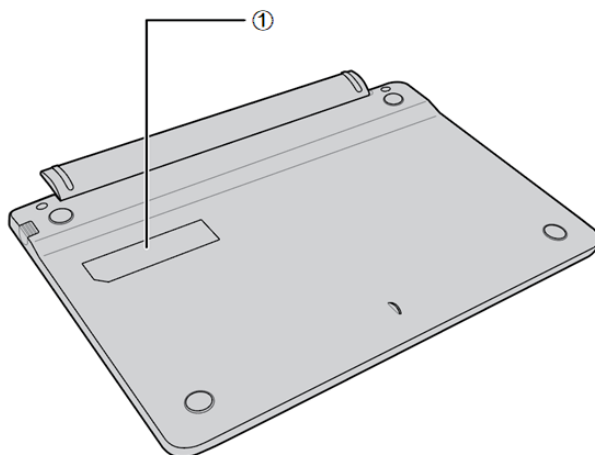
4 キーボードドック前面図（右側）



- ① ペン収納スロット

付属の充電式アクティブ静電ペン、またはPS0181NA1MPP（オプション）を収納できます。

5 キーボードドック背面図



①型番、製造番号

6 磁石の内蔵について

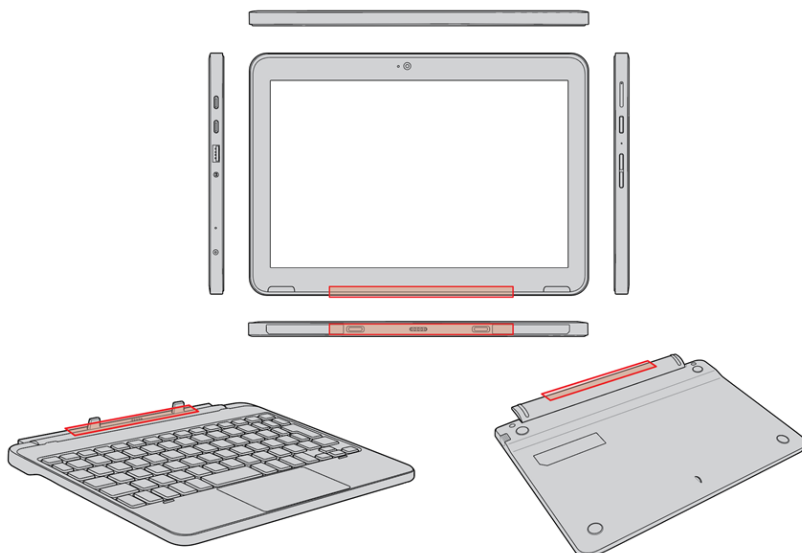
次の図の枠で囲った部分には、磁石が内蔵されています。
ディスプレイ（タブレット部分）を閉じた状態、裏返した状態でも磁気の影響があります。

⚠ 警 告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、本製品の磁石を近づけない
磁気により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

お願い 磁石について

- 磁気カードなどを利用した記憶媒体のデータを壊す可能性がありますので、本製品の磁石に近づけないようにしてください。
- キーボードドック取り付けの妨げとなるおそれがありますので、クリップやUSBケーブルなどの金属部分を本製品の磁石に近づけないようにしてください。



2 Windowsセットアップが終わったら

『スタートアップガイド』の手順に従ってWindowsセットアップが終了したら、次の準備を行ってください。

1. ウイルスチェック／セキュリティ対策を行う

安全にパソコンを使用するために、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用を強くおすすめします。

参照 ▶『パソコンで見るマニュアル 準備編』

2. 回復ドライブを作る

パソコンの調子が悪くなったときに初期状態に戻すための回復ドライブを作成します。

参照 ▶『パソコンで見るマニュアル 準備編』

3. インターネットに接続する

インターネットには、無線LAN で接続します。

参照 ▶『パソコンで見るマニュアル 準備編』

4. Microsoft アカウントでサインインする

Microsoft アカウントでパソコンにサインインできるように設定します。Microsoft アカウントでサインインすると、Windowsの機能をさらに活用できるようになります。

参照 ▶「Microsoft アカウントでサインインする（12ページ）」

* 本製品をタブレット状態で使用する場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

3 Microsoft アカウントでサインインする

Microsoft アカウントでパソコンにサインインできるように設定します。Microsoft アカウントでサインインすると、Windowsの機能をさらに活用できるようになります。

たとえば、

- Office製品に一括でサインインできるようになります（Office搭載モデルのみ）。
- 「OneDrive」を使用して、どのパソコンからでもデータを共有できるようになります。

1. [スタート] ボタン (■) をクリックし①、[設定] をクリックする②



(表示例)

「設定」画面が表示されます。

2. [アカウント] → [ユーザーの情報] をクリックする

3. [Microsoft アカウントでのサインインに切り替える] をクリックする

「Microsoft」の画面が表示されます。

4. Microsoft アカウントを新規に作成する場合は、[アカウントをお持ちでない場合、作成できます] の [作成] をクリックする

■既存のMicrosoft アカウントを利用する場合

アカウントを入力して [次へ] をクリックし、パスワードを入力してサインインします。
手順 10 に進みます。



(表示例)

5. メールアドレスを入力し、[次へ] をクリックする

ここで入力したメールアドレスにMicrosoftから、本人であることを確認するメールが届く場合があります。

6. Microsoft アカウントのパスワード（大文字・小文字・数字・記号のうち2種類以上を含め、8文字以上）を作成して [次へ] をクリックする

Microsoftからのサービス情報メールを受信するかどうかのチェックボックスが表示されている場合は、必要に応じて設定してください。

7. 名前を入力して [次へ] をクリックする

ここで入力した名前がWindows上で使用されます。

8. 国／地域（[日本]）を選択し、生年月日を選択して、[次へ] をクリックする

9. コードを入力する画面が表示された場合は、受信したコードを入力して [次へ] をクリックする

- Microsoftから届いたメールに記載されているセキュリティコードを入力してください。
- Microsoftからのサービス情報メールを受信するかどうかのチェックボックスが表示されている場合は、必要に応じて設定してください。

10. 現在のWindowsパスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して、[次へ] をクリックする

11. PINを作成する画面が表示された場合は、[次へ] をクリックする

PINとは、パスワードの代わりに使用できる暗証番号のようなものです。

12. [新しいPIN] と [PINの確認] に、同じPINを入力し、[OK] をクリックする

[ユーザーの情報] 画面に戻り、Microsoft アカウントに切り替わります。
今後Windowsにサインインするときは、Microsoft アカウントのPINまたはパスワードを入力してください。

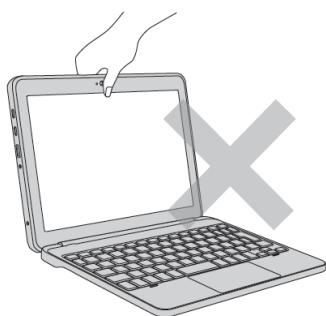
お願い ● Microsoft アカウントのPINとパスワードを忘れないように控えてください。

4 キーボードドックの取り付け

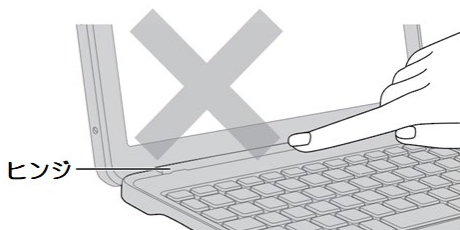
* キーボードドック付属モデルのみ

⚠注意

- **本製品の表面や底面に長時間触れない**
機器の表面や底面は熱くなります。
低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。
- **タブレットを接続していない状態で、キーボードドックのヒンジを操作しない**
ヒンジが破損するおそれがあります。
- **タブレットをキーボードドックに接続するときに指をはさまないようにする**
けがをするおそれがあります。
- **タブレットをキーボードドックに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く**
本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- **キーボードドックを接続した状態でタブレットだけを持って持ち上げない**
キーボードドックがはずれて、けがや破損、故障のおそれがあります。



- **キーボードドックを接続した状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じる場合は、指や物をはさまないようにする**
けがや破損、故障が発生するおそれがあります。
- **ヒンジ部分に指を入れた状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じない**
ヒンジ部分に指をはさんで、けがや故障のおそれがあります。



- **キーボードドックを接続した状態で画面をタッチするときは、強く押さない**
画面を強くタッチすると、本製品が倒れるおそれがあり、けがや故障の原因となります。
- **キーボードドックのコネクタ部分に触れない**
けがや破損のおそれがあります。
- **本製品を持って振らない**
ディスプレイ（タブレット部分）が手前に閉じたり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

お願い 接続する前に

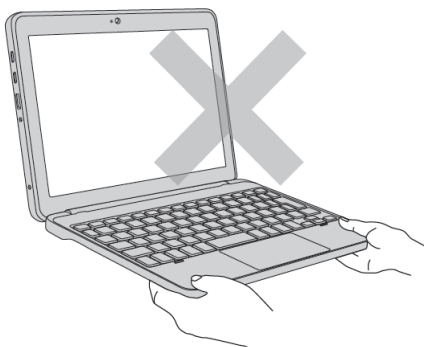
- タブレットをキーボードドックから取りはずしたあと、再接続したい場合は、5秒以上間隔をあけてから行ってください。

お願い ディスプレイ（タブレット部分）を開くときは

- ディスプレイ（タブレット部分）を開き過ぎるとヒンジに力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

お願い ご使用にあたってのお願い

- タブレット状態で、USBコネクタに接続すると本製品が傾くようなUSB対応機器の場合は注意して使用してください。本製品のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。
- 持ち運ぶときはキーボードドックが確実に装着していることを確認してください。
- ディスプレイ（タブレット部分）はゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイの画面に傷がついたり、液晶パネルが故障するおそれがあります。
- 本製品を持つときは、図のようにキーボードドック部分を持たないでください。本製品が破損するおそれがあります。移動するときはディスプレイを閉じて持ってください。



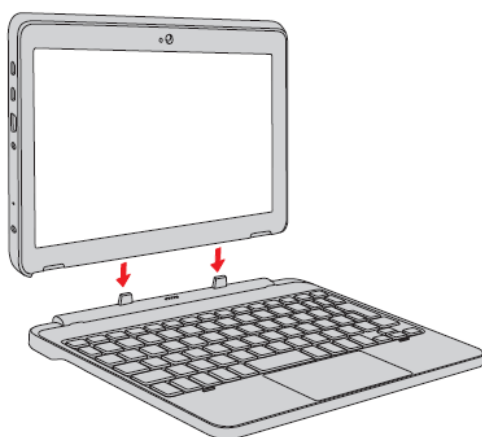
- キーボードの上に、ペンなどものを置いたままディスプレイ（タブレット部分）を閉じないでください。

1 タブレットにキーボードドックを取り付ける

お願い 取り付ける前に

- 次の状態で、タブレットにキーボードドックを取り付けないでください。
本製品が正常に動作しない場合があります。
- ・ Windowsの起動中（デスクトップ画面、またはスタートメニューが表示されるまでの間）
デスクトップ画面、またはスタートメニューが表示されたことを確認してから、取り付けてください。
- ・ Windowsのシャットダウン中
- ・ スリープへの移行中
- ・ 休止状態への移行中

1. タブレットからACアダプター、周辺機器、ケーブル類を取りはずす
2. データを保存し、使用しているアプリケーションを終了して、タブレットの電源を切る
3. タブレットのドッキングガイドをキーボードドックのガイドピンに合わせてゆっくり矢印の方向に差し込む



- Memo**
- タブレットを逆向き（ディスプレイが外側を向いている状態）にして、キーボードドックに取り付けると、キーボードドックの機能は無効になります。

5 バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。

本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危険

- **本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する**
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 お問い合わせ先サービス&サポートのご案内（38ページ）」

お願い バッテリーを使用するにあたって





- あらかじめ、次の説明を確認してください。



参照 「バッテリーの使用／充電について（34ページ）」

1 バッテリー充電量を確認する



バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 バッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery /  LEDが点灯します。DC IN/Battery /  LEDは次の状態を示しています。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN/Battery  /  LED	白色の点灯	充電完了
	オレンジ色の点灯	充電中
	オレンジ色の点滅	充電が必要 ● 電源が入っているとき バッテリーの残量が少なくなっています。電源コードとACアダプターを接続して、バッテリーを充電してください。 ● 電源が切れているとき バッテリーの残量が極端に少ない状態で、バッテリーを充電しています。
	白色の点滅	故障の可能性がある 再度電源スイッチを押してください。点滅が続く場合、故障の可能性があります。dynabook あんしんサポート修理相談窓口に連絡してください。
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない 電源コードとACアダプタを接続していても、以下の場合には消灯します。 ・充電モードで設定した充電量よりバッテリーの残量が多い場合。 ・充電中にバッテリーの温度が充電可能温度の範囲外となった場合。 ・PC内部の消費電力がACアダプタの電力を超過し、一時的にバッテリーから放電している場合。 上記以外で消灯したままの状態の場合は、(バッテリーの)異常の可能性があります。dynabookあんしんサポート使用方相談窓口に連絡してください。

2 通知領域の［バッテリー］アイコンで確認する

通知領域の［バッテリー］アイコン（、）の上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。



(表示例)

2章 困ったときは

1 困ったときは —トラブルを解消するまでの流れ—

STEP ① 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP ② 『パソコンで見るマニュアル』や「おたすけナビ」から探す

● 『パソコンで見るマニュアル』を検索してみる

- ① [スタート] ボタン (■) をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [パソコンで見るマニュアル] をクリックする
- ③ 各編をクリックする
- ④ 右上の [設定など] (⋮) をクリックし、[ページ内の検索] を選択する
- ⑤ 検索ボックスにキーワードを入力して検索する

● 「おたすけナビ」で探してみる

「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。

- ① [スタート] ボタン (■) をクリック
- ② [すべてのアプリ] → [おたすけナビ] をクリックしてください。
ヘルプを起動するには、[おたすけナビ] 画面で ? をクリックします。

STEP ③ サポートのサイトで調べる

＊ インターネットに接続している場合

- 当社ホームページ「dynabook.com」(<https://dynabook.com/>)
「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

STEP ④ それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- パソコン本体のトラブルの場合
dynabook あんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合
OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 ▶ お問い合わせ先『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

- 周辺機器のトラブルの場合

参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

2 Q&A集

ここでは、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない

- A** 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押し、Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

- A** バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

参照▶「バッテリーについて (17ページ)」

- A** パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるまで待ってください。

- A** パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
- ② そのままの状態、しばらく放置する
- ③ 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。
- ⑤ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチをさらに1回押す
- ⑥ 10秒程度待つて、なにも反応しない場合は、さらに1回電源スイッチを押す
- ⑦ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチを18秒ほど長押しして、指をはなす
- ⑧ 再度電源スイッチを押す

手順④～⑧の操作を行うと、内蔵時計がリセットされる場合があります。日付と時刻を設定し直してください。

以上の手順でも解決できない場合は、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口に連絡してください。

参照▶ 電源コードとACアダプターの接続『スタートアップガイド』

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスク／SSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次の手順で操作してください。

①システムが入っている記録メディアをセットする

②電源スイッチを5秒以上押して電源を切る

③電源スイッチを押し、すぐに **[F12]** キーを数回押す

(タブレット状態の場合は、電源スイッチを押し、すぐに音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続ける)

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

④表示されたメニューから起動したいドライブ (通常はハードディスク／SSDを示す項目) を

[↑] **[↓]** キーで選択し、**[ENTER]** キーを押す

A システム (OS) が破損、またはハードディスク／SSDの内容が消去された可能性があります。
dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「サービス&サポートのご案内 (38ページ)」

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

● 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

参照▶ 「バッテリーについて (17ページ)」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT] キーを押すか、画面をタッチするか、タッチパッド、マウスなどを操作すると表示が復帰します。

2 画面／表示

Q 青い画面 (ブルースクリーン) が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない (22ページ)」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT]キーを押すか、画面をタッチするか、タッチパッド、マウスなどを動かすと表示が復帰します。

3 システムとハードディスク／SSD

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動するか、完全にシャットダウンしてください。

参照 再起動／完全にシャットダウンする

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

タッチパッドやマウスなどで操作できない場合は、次の手順でキーボードを操作して再起動してください。

① **[CTRL]** + **[ALT]** + **[DEL]**キーを押す

② **[TAB]**キーを数回押して画面右下の「電源」()を選択し、**[ENTER]**キーを押す


③ 表示されたメニューから、**[↑]** **[↓]**キーを操作して「再起動」を選択し、**[ENTER]**キーを押す
パソコンが再起動します。

A Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動したり、完全にシャットダウンできない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A システムが処理中の可能性があります。

システム処理中は、操作を受け付けない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形()になっています。システムの処理が終わるまで待つてから操作してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール

『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4章 アプリケーションを追加／削除する』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 | タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

- A** タッチパネルに触れたまま電源を入ると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。
タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

5 | メッセージ

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

- A** 日付と時刻を設定してください。
Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「No bootable device - Please restart system」

- A** システム (OS) が破損、またはハードディスク／SSDの内容が消去された可能性があります。
dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「サービス&サポートのご案内 (38ページ)」

Q その他のメッセージが表示された

- A** 『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を参照してください。

6 | その他

Q 異常なおいや過熱に気づいた！

- A** パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認し、バッテリーパック搭載モデルの場合はバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてからdynabook あんしんサポート修理相談窓口にご相談してください。
なお、お問い合わせの際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照▶ 修理のお問い合わせについて「付録3 サービス&サポートのご案内」

Q 甲高い音がする

A ハウリングを起こしています。

ハウリングとは、スピーカーから出た音がマイクに入り再びスピーカーに返されることで、音が増幅し発生する高く大きな音のことです。

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカーとでハウリングを起こすことがあります。

次の方法で調整してください。

- 外部マイクをパソコン本体から遠ざける
- パソコン本体の音量ボタン、音量ミキサー、または **[FN]** + **[F10]**キー / **[FN]** + **[F11]**キーで音量を調整する

参照 スピーカーの音量調整

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

- 使用しているソフトウェアの設定を変える

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに変える

Q パソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A システムを復元するためのデータが破損、または誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて「サービス&サポートのご案内（38ページ）」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」を確認してください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 「困ったときは（19ページ）」のSTEP2以降

A パソコン本体のトラブルの場合は、dynabook あんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

3 パソコンを再セットアップするまでの流れ

パソコンの動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

■ ウイルスチェック／セキュリティ対策を実行する

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールしている場合は、パターンファイルは、最新のものに更新しておいてください。

＊パターンファイルで対応していないウイルスは、駆除できない場合があります。

参照 ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフト『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章』

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるため、それらを取りはずしてから再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照 周辺機器の取りはずし

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

■ システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。

参照 「トラブルシューティング」について

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章』

Memo

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

参照 アプリケーションを追加／削除する『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編』

それでも改善しない場合

パソコンをリセットする／初期状態に戻す

大切なデータはあらかじめバックアップをとってから、パソコンをリセット、または初期状態に戻してください。

参照 「パソコンをリセットする／初期状態に戻す（26ページ）」

参照 裏表紙の「リセット／初期状態に戻すためのチェックシート」

4 パソコンをリセットする／初期状態に戻す

パソコンをリセット／初期状態に戻すと、購入後にインストールしたアプリケーションや現在の設定などは削除されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに、パソコンをリセット、または初期状態に戻してください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
 - 周辺機器が使えなくなった
 - ハードディスク／SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
 - コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*1
 - パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
 - dynabook あんしんサポートに相談した結果、「初期状態に戻す必要がある」と診断された
- *1 ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

この操作を始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。
- ユーザー名が初期状態に戻した後と異なる場合、バックアップをとったデータが復元できない場合があります。初期状態に戻す前にユーザー名を控えてください。
- この操作は、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人に操作されないよう、スーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 スーパーバイザーパスワードやユーザーパスワード

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 4章 セキュリティ』

1 パソコンをリセット／初期状態に戻す方法について

パソコンをリセット／初期状態に戻す方法には、次の種類があります。

- 個人用ファイルを保持してリセットする方法
- 初期状態に戻す方法
 - ・ ハードディスク／SSDから行う方法
 - ・ あらかじめ作成しておいた回復ドライブから行う方法

通常は、個人用ファイルを保持してリセットしてください。

それでもトラブルが解消しない場合は、初期状態に戻してください。

1 個人用ファイルを保持してリセットする方法

個人用ファイルを保持したまま、パソコンをリセットします。

■ 消去される内容

個人用ファイルを保持してリセットすると、次のものが消去されます。

- 本製品を購入後にインストールしたアプリケーション（「Microsoft Store」からインストールしたアプリケーションを含む）
たとえば、プレインストールされていないプリンタードライバーなど
- アプリケーションの設定
- 本製品向けに用意された更新モジュール

■ 消去されない内容

- [ドキュメント]、[ピクチャ]、デスクトップ上のデータなど
- 本製品にプレインストールされているアプリケーション
- ユーザーアカウント
- インターネットや無線LAN／モバイルネットワークの接続設定
- デスクトップの設定（テーマや壁紙）
- [設定] の個人用設定
- Windows Updateによる更新モジュール

2 初期状態に戻す方法

お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、初期状態に戻します。

ハードディスク／SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Microsoft アカウントのPINやパスワードなど）も、初期状態に戻ります。

通常はハードディスク／SSDから初期状態に戻してください。

ハードディスク／SSDから初期状態に戻せない場合などに、回復ドライブから初期状態に戻すことをおすすめします。

回復ドライブは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 回復ドライブの作成『パソコンで見るマニュアル 準備編』

2 パソコンをリセット／初期状態に戻す流れ

パソコンをリセット／初期状態に戻す場合は、次のような流れで作業を行ってください。

リセット／初期状態に戻す前に、準備する

バックアップをとったり、**参照**▶「パソコンをリセット／初期状態に戻す前に準備すること（29ページ）」
各種設定を確認する など

リセット／初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

リセットする／
初期状態に戻す

参照▶「個人用ファイルを保持してリセットする方法（31ページ）」
参照▶「ハードディスク／SSDから初期状態に戻す方法（31ページ）」
参照▶「回復ドライブから初期状態に戻す方法（32ページ）」

リセット／初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用の開始

参照▶『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章』

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターン
ファイルの更新

参照▶『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章』
参照▶ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章』

周辺機器の接続

参照▶『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章』
参照▶『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章』
参照▶『各機器に付属している説明書』

メールの設定

参照▶『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

アプリケーションのインストールと設定

参照▶『アプリケーションに付属している説明書』

データの復元

参照▶「バックアップをとったデータを復元する（33ページ）」

3 パソコンをリセット／初期状態に戻す前に準備すること

パソコンをリセット／初期状態に戻す前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

リセット／初期状態に戻すためのチェックシートを印刷したもの

参照 裏表紙の「リセット／初期状態に戻すためのチェックシート」

必要に応じて、データのバックアップをとる

次のようなデータは、必要に応じて記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊CD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- [ドキュメント]、[ピクチャ] などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リセット／初期状態に戻しても、ハードディスク／SSDに保存されていたデータは復元できません。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて

『メールソフトに付属している説明書』

参照 その他のデータのバックアップについて

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、パソコンをリセット／初期状態に戻したあとに再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディアが、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、認証キーの番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Officeの確認を行う

Officeで使用したMicrosoft アカウントとパスワードを控えておいてください。
パソコンをリセット／初期状態に戻したあと、Officeを使用する際にサインインが必要です。

各種設定を確認する

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。


「初期状態に戻す」場合は、インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

無線通信機能は、次の手順でONにできます。

- ①通知領域の  アイコンをクリックする
- ②[機内モード] をクリックして、オフに切り替える

参照 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

お願い パソコンをリセット／初期状態に戻すときの注意

- 周辺機器は接続しないでください
 - ・リセット／初期状態に戻す作業が完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。
- 途中で電源を切らないでください
 - ・リセット／初期状態に戻す作業の途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。
- 操作は時間をあけないでください
 - ・リセット／初期状態に戻す作業中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。しばらく入力装置(タッチパッドやキーボードなど)を操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、**SHIFT** キーを押すか、画面をタッチするか、タッチパッドなどをさわってください。
キーやタッチパッドなどでは復帰しない場合は、電源スイッチを押してください。

4 個人用ファイルを保持してリセットする方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

Memo

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン (■) をクリックする
- ③ [設定] をクリックする
- ④ [システム] → [回復] をクリックする
- ⑤ [このPCをリセット] で [PCをリセットする] をクリックする
- ⑥ [個人用ファイルを保持する] をクリックする
- ⑦ [Windowsを再インストールする方法を選択します。] 画面が表示された場合は、[ローカル再インストール] をクリックする
- ⑧ 設定を変更しないで、[次へ] をクリックする
- ⑨ [リセット] をクリックする

以降は、画面の指示に従って操作してください。

この操作が終わるまで、絶対に電源を切らないでください。

5 ハードディスク／SSDから初期状態に戻す方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

Memo

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで ⏪ ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
⏪ ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン (■) をクリックする
- ③ [設定] をクリックする
- ④ [システム] → [回復] をクリックする
- ⑤ [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をクリックする
- ⑥ [今すぐ再起動] をクリックする
- ⑦ [トラブルシューティング] をクリックする
- ⑧ [このPCを初期状態に戻す] をクリックする
- ⑨ [すべて削除する] をクリックする
- ⑩ [ローカル再インストール] をクリックする
- ⑪ [ファイルの削除のみ行う] をクリックする
- ⑫ [初期状態に戻す] ボタンをクリックする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑬ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』



6 回復ドライブから初期状態に戻す方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。


回復ドライブは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ 回復ドライブの作成『パソコンで見るマニュアル 準備編』

Memo


- 回復ドライブ以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続する


②  キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る (Windowsが起動している場合)

参照▶ 電源の切りかた『パソコンで見るマニュアル 基本操作/セキュリティ編』

タブレットのみで使用するモデルの場合は、次の手順で電源を切ってください。

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [システム] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
5. [今すぐ再起動] をタップする
6. [PCの電源を切る] をタップする

③ USBコネクタに回復ドライブ (USBフラッシュメモリ) を接続する

④ 電源スイッチを押し、すぐに  キーを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

タブレットのみで使用するモデルの場合は、電源スイッチを押し、すぐに音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続けてください ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)。

⑤ USBフラッシュメモリを示す項目 ([EFI USB Device] など) を  または  キーで選択し、 キーを押す

タブレットのみで使用するモデルの場合は、USBフラッシュメモリを示す項目 ([EFI USB Device] など) をタップしてください。

⑥ [日本語 (日本)] をクリックする

⑦ [Microsoft IME] をクリックする

⑧ [ドライブから回復する] をクリックする

⑨ [ファイルの削除のみ行う] をクリックする

⑩ [回復] ボタンをクリックする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑪ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

7 パソコンを初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定や更新、メールの再設定などを行ってください。

参照▶ 詳細について「パソコンをリセット／初期状態に戻す流れ（28ページ）」

Memo

- 一部のアプリケーションは、パソコンをリセット／初期状態に戻した後に再インストールをする必要があります。

参照▶ アプリケーションの再インストール

『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4 章 アプリケーションを追加／削除する』

1 バックアップをとったデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップをとった記録メディアからデータを読み込んでください。

■[ドキュメント]、[お気に入り] のデータや、その他のファイルやフォルダーなど
バックアップをとったデータを復元してください。

参照▶ メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属している説明書』

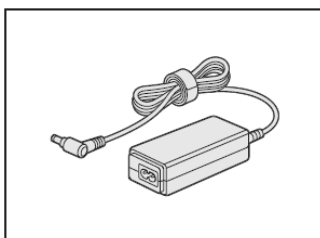
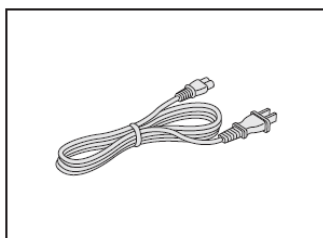
付録

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、下の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより形状が異なります。

2 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーは5～35℃の温度で充電してください。この温度から外れた場合、一時的に充電を停止したり、正常に充電されないことがあります。

【参考資料】

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「ノートパソコンやタブレットのバッテリーに関する基礎知識」について

<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>

3 周辺機器について

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサクションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサクションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

4 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 付録』に記載されています。

- 高調波対策について
- 電波障害自主規制について

2 アプリケーションのお問い合わせ先

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

＊ 2023年9月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

参照 本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先について

『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■Excel／Outlook／PowerPoint／Word

上記Office製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境およびMicrosoft アカウントでのサインインが必要です。

Office製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフトサポート受付窓口

サポートサイト : <https://aka.ms/online>

マイクロソフトサポートの利用方法（ホームユーズ向け）

: <https://aka.ms/csjp>

サポート有効期間：サポートライフサイクル期間内

※サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/>をご確認ください。

<サポートWebサイト>

Office製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記Webサイトもご確認ください。下記アドレスをワンボックス（アドレスバー）に直接入力いただければ、Webサイトにアクセスできます。

●Office製品情報：

製品の機能や使い方などの製品情報

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office>

●Microsoft アカウントについて：

Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては、下記のサイトをご覧ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/account>

●Officeのセットアップについて：

製品を使い始めるときのセットアップについては、下記のサイトをご確認ください。

<https://aka.ms/jpsetup>

●サポート情報：

製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。

<https://office.com/jppipcsupport>

■ウイルスバスター クラウドTM90日版

トレンドマイクロ株式会社 ウイルスバスターTMサービスセンター

受付時間 : 9:30～17:30

TEL : 0570-008-326

03-6738-6062 (IP電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <https://tmqa.jp/ml/>

ホームページ : <https://tmqa.jp/dynabook/>

■筆ぐるめ for dynabook

富士ソフト株式会社 筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)

11月1日から12月30日までは無休

(受付時間9:30～17:00 12/30のみ12:00まで)

TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)

03-5638-6139 (IP電話で使用的場合)

E-mail : users@fsi.co.jp

ホームページ : <https://fudegurume.jp/>

3 サービス&サポートのご案内

「PCサポートページ (dynabook)」 <https://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2023年10月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート対応は、お問い合わせの内容や手段によって、窓口が分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段			
	電話	Web	訪問	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない				
時間にとらわれず好きな時間に相談したい(24時間)				
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい				
故障かどうか調べたい				
インターネットで修理の申し込みをしたい				
インターネットで修理状況を確認したい				
海外から修理を依頼したい				
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい				
自宅に来てトラブルを解決してほしい				
パソコンの調子が悪いので、パソコンを預けて点検してほしい				
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				
パソコンの中からデータを救い出してほしい				
パソコンの設定を代わりにしてほしい				
マンツーマンでレッスンを受けたい				

困ったときのご相談	手段			
	電話	Web	訪問	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談				
お客様登録をしたい				
ACアダプターを購入したい				
メモリを購入したい*1				
バッテリーパック搭載モデルの場合、バッテリーパックを購入したい*2				
バッテリーパック内蔵モデルの場合、バッテリーパックの交換を依頼したい*2	 *3			
保証期間を延長したい				
使用済みパソコンの回収・リサイクルのご相談				
不要になったパソコンを廃棄したい（個人）				
不要になったパソコンを廃棄したい（企業）				

*1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかったり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。



【参照】『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 1-2 タブレット背面図』の「お願い」

*2 充電機能が低下した場合、ご使用のモデル（バッテリーパック搭載モデル／バッテリーパック内蔵モデル）によって、対応窓口が異なります。

【参照】ご使用のモデルの確認『本書の表紙』

*3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

- ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、[システム情報]画面、または本体底面／背面などの表示でご確認いただけます。
[システム情報]画面は、次の方法で確認できます。
 - ①[スタート] ボタン（）をクリックする
 - ②[すべてのアプリ] → [dynabook サポートユーティリティ] をクリックする
 - ③画面左側の [システム情報] をクリックする
- どのような症状が起きましたか？エラーメッセージなどは表示されましたか？
- その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
- 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
- 事前にお客様登録  (<https://cocoromembers.jp.sharp>) をおすすめします。

■各問い合わせ先について＊電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。



dynabook あんしんサポート使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「COCORO MEMBERS」にご登録（お客様登録）ください。

使いかた相談窓口のご利用には、「COCORO MEMBERS」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶「COCORO MEMBERS」への登録方法

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 6 お客様登録（COCORO MEMBERS）の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。

ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。

- ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
- ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：有料（詳しくはdynabook.comをご覧ください）

<https://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial2016.htm>

1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数でご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。

お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。

3. お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] 0120-97-1048（通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780

受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）（通話料お客様負担）



遠隔支援サービス

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。



当社ホームページ「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<https://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

「dynabook あんしんサポート」にお問い合わせが多い内容についてランキング形式で紹介しています。

https://dynabook.com/assistpc/faq_search/faq_ranking_call.htm



dynabook 集中修理センター（dynabook あんしんサポート修理相談窓口）

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] 0120-97-1048（通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780

（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）



dynabook 集中修理センター

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本当に故障かわからないとき

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認（携帯からアクセス可能）

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は法人向け修理・サポートダイヤル

https://dynabook.com/assistpc/repaircenter/b2b/shuuri_houjin.htm

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）



ILWサポート（海外保証・制限付）

<https://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございません。

ホームページからの修理申し込み：<https://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：

[海外から] 81-43-298-8780（通話料お客様負担）

[固定電話から] 0120-97-1048（通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（通話料お客様負担）

一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、中国、台湾、香港 ※準州などを除く



ACアダプター、電源コード、バッテリーパックなどの付属品の購入窓口

<https://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>



バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

●バッテリーパック交換（個人）

dynabook あんしんサポート修理相談窓口にご連絡ください。

●バッテリーパック交換（企業）

営業担当にご連絡ください。



PCリサイクルのご相談（個人）

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み当社製パソコンを廃棄するときは、dynabook リサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：dynabook リサイクルセンター

<https://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、DVD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象(当社製パソコン)：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管(CRT)ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

2003年9月末日までに当社から出荷された「PCリサイクルマーク」のない「個人・家庭向けパソコン」については、回収・再資源化に関する費用を、排出の際にお客様に料金をご負担していただきます。

料金につきましては、dynabook リサイクルセンターまでお問合せください。



PCリサイクルのご相談（企業） dynabook IT機器リサイクルセンター

電話番号：044-555-1214

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：044-555-3220（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン回収・リサイクルのホームページ

<https://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検

dynabook あんしん点検（有料）の申し込み

<https://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

有料
サポート

有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／dynabook 延長保証サービス

- ・ PC遠隔レッスンサービス
個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。
- ・ PC遠隔代行サービス
周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。
<https://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>
- ・ dynabook 延長保証サービス
メーカー無償保証を延長する「dynabook あんしん延長保証」と、さらにメーカー保証では対象とならない落下、水こぼし、破損、落雷等の損傷もカバーする「dynabook プレミアム保証」をご用意しています。
https://dynabook.com/assistpc/encho/index_j.htm

データ
復旧

dynabook データ復旧センター（有料）のご案内

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスクの故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

dynabook データ復旧センター

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】

電話番号：043-277-9270（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～18:00（休業日：12/31～1/3）

【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート

dynabook 訪問サポート（有料）＊個人のお客様向け

<https://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00 年中無休

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00 年中無休（年末年始を除く）



ローマ字／記号入力一覧表



あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WI*		WE*	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	Ji			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA*	VI*	VU	VE*	VO*

*：英字を入力し、[SPACE]キーを押してください。

■ 記号の入力

～	※	々々	①②ⅠⅡ	♪
から	こめ	おなじ	いち、に…	おんぶ
○○●	↑↓←→	ヶ	ゞ	Φ
まる	やじるし	け	しめ	ふあい
□■◇	【】〈〉『』	×		mf
しかく	かっこ	かける	へいほうめーとる	
☆★	〒	÷	(^.^)など各種顔文字	
ほし	ゆうびん	わる	かお	

うあ	うい		うえ	うお
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きい	きゅ	きえ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くあ	くい		くえ	くお
QA	QI		QE	QO
しゃ	しい	しゅ	しえ	しょ
SYA		SYU	SYE	SYO
SHA	SYI	SHU	SHE	SHO
じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
JYA		JYU	JYE	JYO
JA	JYI	JU	JE	JO
すあ	すい	すう	すえ	すお
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちょ
TYA		TYU	TYE	TYO
CHA	TYI	CHU	CHE	CHO
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つあ	つい		つえ	つお
TSA	TSI		TSE	TSO
てや	てい	てゅ	てえ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
とあ	とい	とう	とえ	とお
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にい	にゅ	にえ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふあ	ふい	ふう	ふえ	ふお
FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

● 小さい文字

あ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
つ	や	ゆ	よ	
LTU	LYA	LYU	LYO	
XTU	XYA	XYU	XYO	

「COCORO MEMBERS」お客様登録のお願い

当社では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために「COCORO MEMBERS」のご登録をお願いしております。

登録用ホームページ：

<https://cocoromembers.jp.sharp>



左記のQRコードで登録用ホームページにアクセスできます。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

Kシリーズ、KZシリーズ

取扱説明書

2023年10月

GM9045363210

発行 Dynabook株式会社

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15（NBF豊洲ガーデンフロント）

© 2023 Dynabook Inc.
ALL RIGHTS RESERVED

無断複製および転載を禁ず

リセット／初期状態に戻すためのチェックシート

パソコンの回復やリセットを行う際は、次の説明をお読みにになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照 各項目の詳細 2章の 3、4

■ リセット／初期状態に戻す前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input type="checkbox"/>	ウイルスチェック／セキュリティ対策を実行する
<input type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input type="checkbox"/>	「2章 1 困ったときは」を参照して、ほかのトラブル解消方法を探す
<input type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する

■ リセット／初期状態に戻す前にすること

チェック欄	説明	
<input type="checkbox"/>	① 準備するもの	「2章 4 パソコンをリセットする／初期状態に戻す」、本チェックシート
<input type="checkbox"/>		回復ドライブ、リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ）
<input type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャ]、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの [お気に入り] のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）	
<input type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア	
<input type="checkbox"/>	④ 各種設定を確認する	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定など
<input type="checkbox"/>		インターネットの設定、Microsoft アカウントとパスワード
<input type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであることを確認する	

■ リセット／初期状態に戻すための作業と、その後にすること

チェック欄	説明
<input type="checkbox"/>	① リセット／初期状態に戻す（*リカバリー後はWindowsセットアップが必要）
<input type="checkbox"/>	② ウイルスチェック／セキュリティ対策を行う
<input type="checkbox"/>	③ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルを更新する（*ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストール時のみ）、Windows Updateを行う
<input type="checkbox"/>	④ 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input type="checkbox"/>	⑤ メールを設定する
<input type="checkbox"/>	⑥ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input type="checkbox"/>	⑦ バックアップをとったデータを復元する